

1 教育目標

(1) 基本目標

地域での主体的な学びを通して自信を深め、健康で心豊かにたくましく生きる児童生徒を育てる

(2) 具体目標

- | | |
|----------------------------|------|
| 「じょうぶで元気な子」 | 【健康】 |
| ・健康で明るく、いろいろな活動に取り組む | |
| 「みんなとなかよくする子」 | 【協調】 |
| ・友達と楽しく活動し、協力し合える | |
| 「自分のことは自分でする子」 | 【自立】 |
| ・生活する力を身に付け、よりたくましく生きようとする | |

2 学校経営の基本方針

「ウェルビーイングの考え方を通してこどもの夢や希望に沿う教育活動の充実」

(1) 信頼関係の構築

- ・児童生徒、保護者、教職員が笑顔で過ごせるように、敬意と感謝の心をもった人づくり

(2) 連携と協働のカリキュラムマネジメント

- ・各学部や地域の人々と連携し、つながりを大切にした教育課程の実施・改善

(3) 働き方改革の推進

- ・教職員が効率よく働ける仕組みを検討し、授業準備や教材研究の時間を確保

(4) 個に応じた指導の充実

- ・児童生徒が笑顔で安全・安心に学べる指導内容や学習環境を整備

(5) キャリア教育と進路指導の充実

- ・児童生徒が自ら選ぶ経験を重視し、自己有用感を高める機会を提供

(6) 地域に根ざした特色ある学校づくり

- ・本校の特色を生かした児童生徒が輝く教育活動の充実

(7) 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

- ・地域の子供たちが安心して学べる環境づくりや情報提供

3 令和7年度の重点事項

(1) 児童生徒が主体的に取り組むための魅力ある授業づくり

- ア 学びの目標を意識し、活動をやり遂げる指導の充実
- イ 保護者や関係者への説明責任を果たす
- ウ 人と関わる体験を通じた道徳性の育成
- エ 体験学習やICT機器を活用した授業の充実
- オ 教員の授業力向上を目指した授業研究の実施

(2) 協力体制が発揮できる学校づくり

- ア 教職員のAI活用による業務改善

- イ 良好な人間関係の構築
- ウ 互いに助け合い、協力し合える職場づくり
- エ 迅速な報連相がなされる組織づくり

(3) 特性に対応した研修の推進

- ア 各障がいの特性に対応した専門性の向上
- イ 校内外の研修成果の共有と活用

(4) 一貫性のある「キャリア教育」と進路指導の充実

- ア 各学部段階におけるキャリア教育の充実
- イ 保護者・地域等への進路情報の提供
- ウ 児童生徒の実態に応じた進路実現への柔軟な対応

(5) 特色ある学校づくりとスポーツ活動の推進

- ア 絵のある（造形活動の充実）、花のある（環境整備）、歌声がひびく（音楽活動）、笑顔いっぱい（明朗快活）の学校づくりを通じた児童生徒の豊かな心の育成
- イ スポーツイベントへの参加や、交流を通じたスポーツ活動及び体づくりの充実
- ウ 地域をはじめ校外の人々の評価による自己肯定感の向上

(6) 地域社会への理解促進

- ア 学校と地域が連携・協力した奉仕活動や体験活動の充実
- イ 地域の学校との交流及び共同学習（学校間交流）の積極的な実施
- ウ 居住地校交流に係る情報発信

(7) 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

- ア 上北地区特別支援連携協議会事務局として、地域の特別支援教育に関する積極的な支援
- イ 特別支援教育の取組について、ホームページや情報機関等の活用した積極的な情報発信

4 その他、今後継続的・段階的な取組（学校運営協議会で話題となった内容）

- (1) 花のある学校としての緑地整備活動の推進
- (2) 音楽活動の工夫と充実及び外部への発信
- (3) 図書室のない本校における読書活動の充実
- (4) 地域の施設利用による地域社会での本校の理解の推進
- (5) 地域の教育委員会への本校の理解の推進